

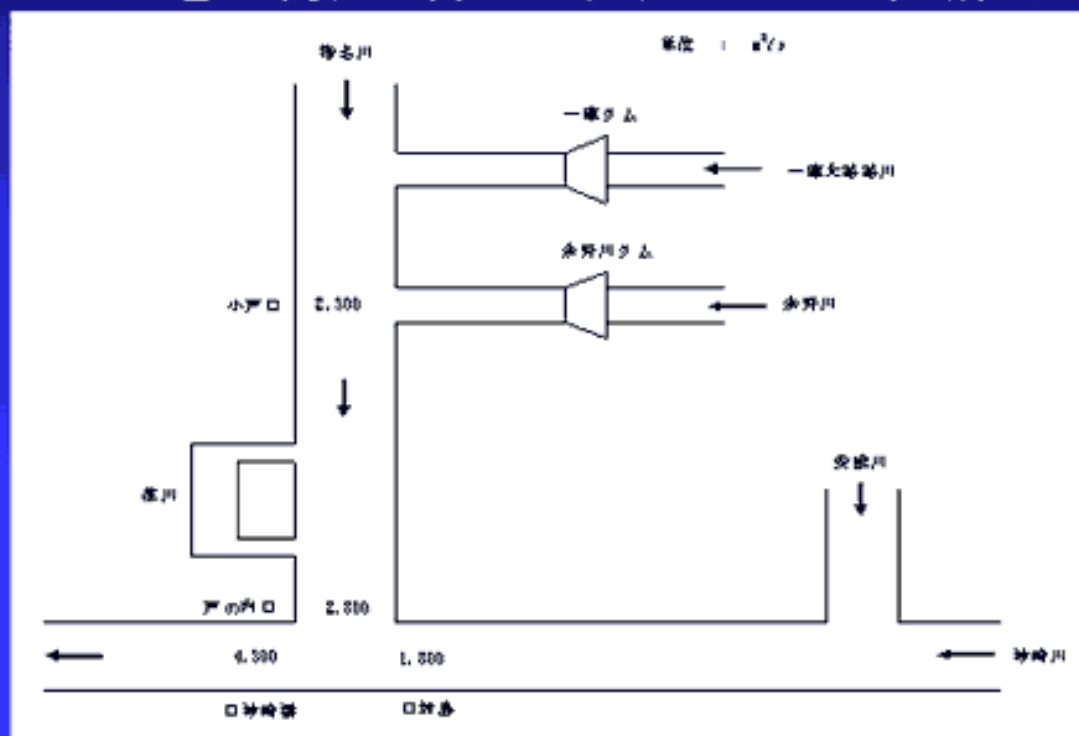
中間とりまとめを受けた
猪名川治水の考え方

現在の考え方

これまでは、
目標となる洪水流量を設定し、
その流量を流下するような整備
を実施してきました。

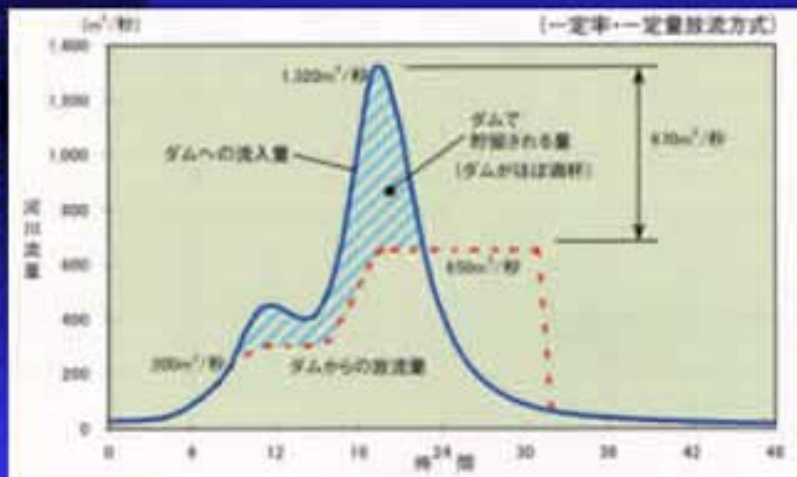
現在の考え方

淀川水系工事实施基本計画では、目標規模を年超過確率200年とし計画高水流量が定められています。猪名川における基準点是小戸地点であり、基本高水流量 $3,500\text{m}^3/\text{s}$ を上流ダム群により $2,300\text{m}^3/\text{s}$ に低減します。

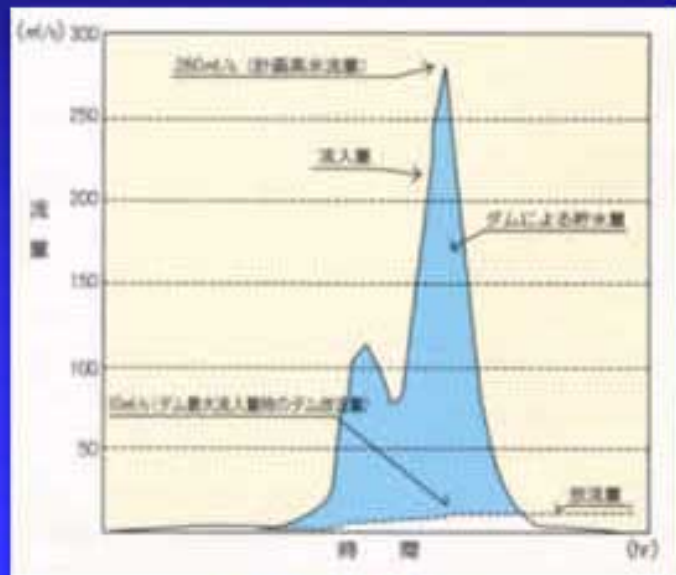


現在の考え方

工事実施基本計画においては、一庫ダムおよび余野川ダムで、基本高水流量 $3,500\text{m}^3/\text{s}$ を $2,300\text{m}^3/\text{s}$ に低減する計画となっています。



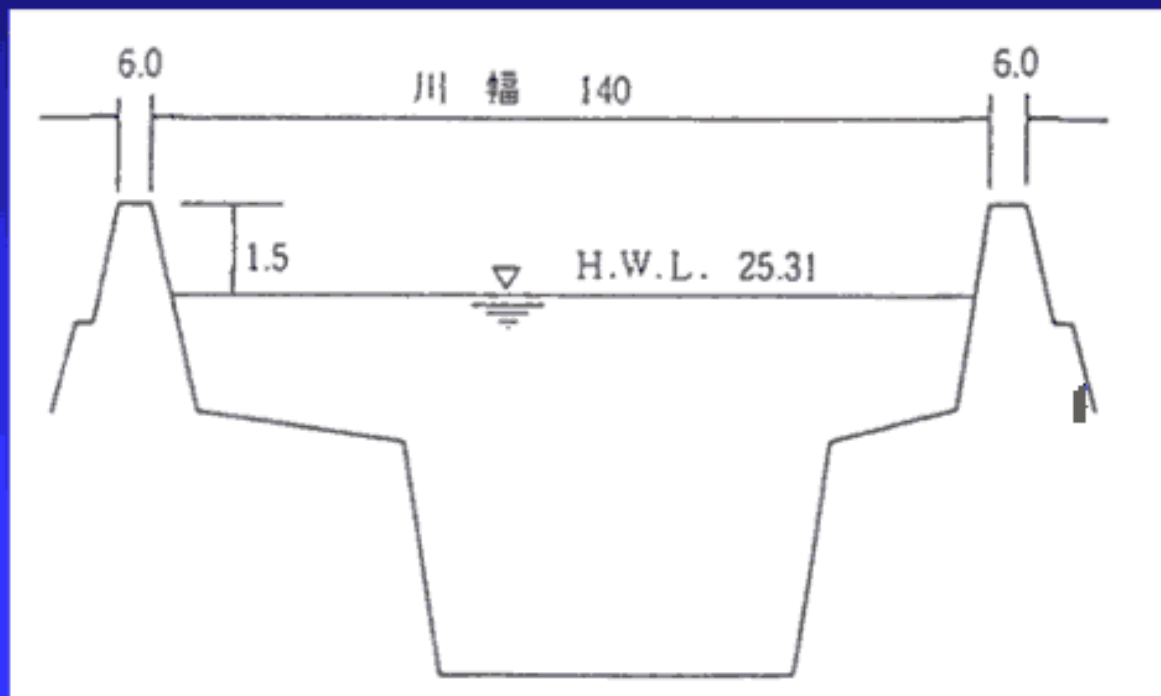
一庫ダム



余野川ダム

現在の考え方

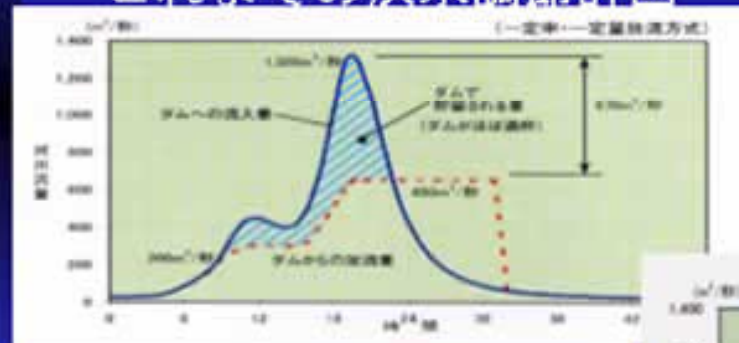
基準地点である小戸の改修断面は以下の通りです。



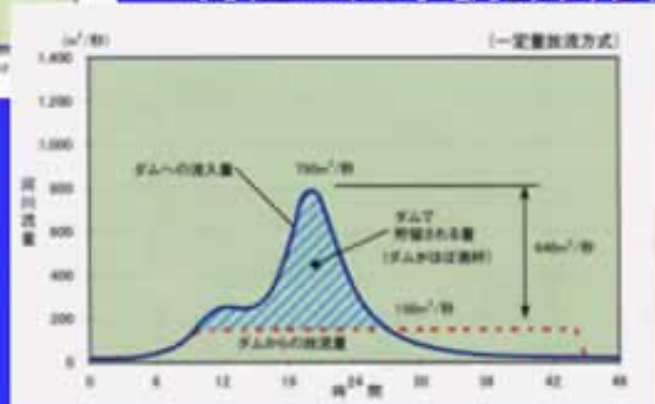
現在の考え方

多田地区の浸水被害を軽減するために、一庫ダム
の放流操作を変更しています。

これまでの洪水調節計画



現在の洪水調節計画

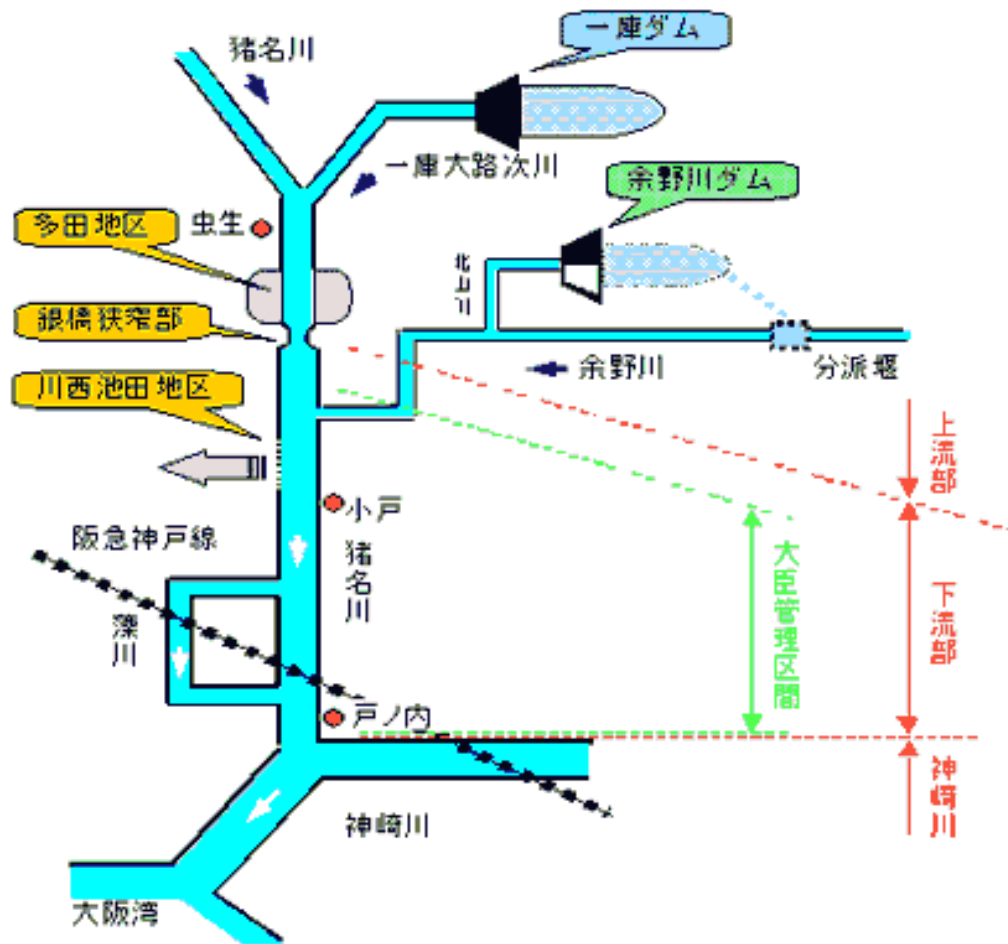


現状の課題

現状の整備において以下のような課題があります。

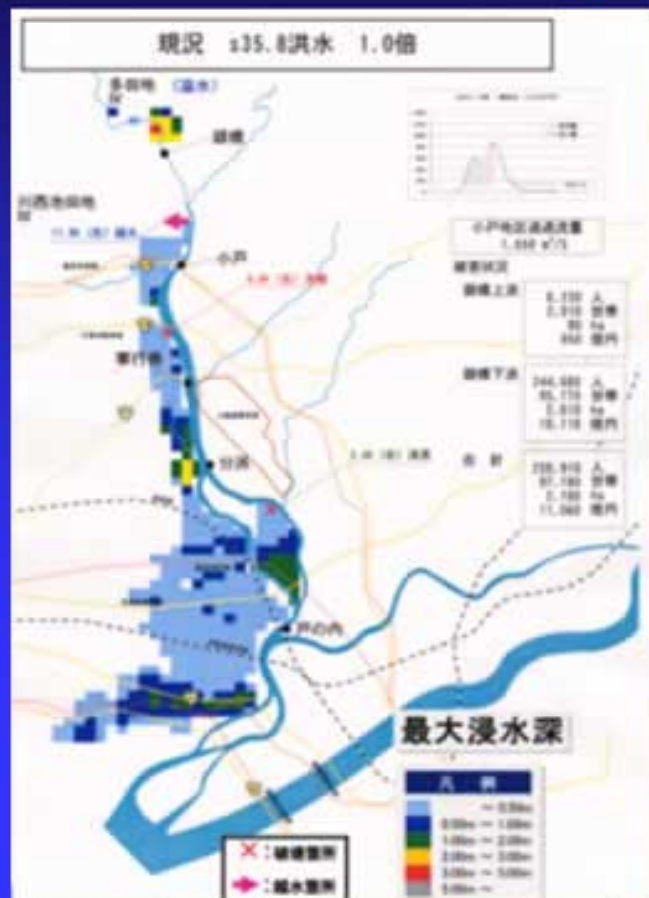
- ・河床掘削工事が完了していない
- ・川西池田地区に無堤区間がある
- ・多田地区に狭窄部がある

現状の課題



現状の課題

現状で実績洪水が流下すると、破堤による壊滅的な被害が生じる可能性があります。



中間とりまとめを受けた猪名川における治水の考え方

破堤による壊滅的被害回避の努力



- 無堤地区(川西池田地区)からの浸水は拡散型氾濫で下流(尼崎市等)に達する
- 銀橋上流の多田地区は浸水
- **破堤による壊滅的被害回避の努力を最優先**
- 浸水被害の軽減

中間とりまとめを受けた

猪名川治水メニューを考えるための前提条件



原則として、

- ・下流の水位上昇はさせない。
- ・現在の堤防を活用する。
- ・現在の堤防は、今以上高くしない。

堤防の破堤要因評価(1)

■:浸透 ■:洗掘 ■:越水・溢水

■現況

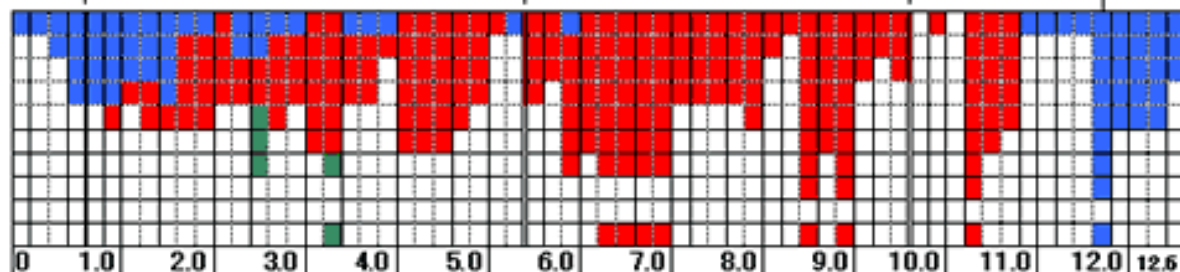
【猪名川右岸】 合流点(0.6k)

分派点(5.4k)

久代北台井堰(9.6k)

中の島(11.8k)

S28 5.0倍
S28 3.5倍
S28 3.0倍
S28 2.5倍
S28 2.0倍
S28 1.8倍
S28 1.5倍
S28 1.2倍
S28 1.0倍
S35 1.0倍
測点

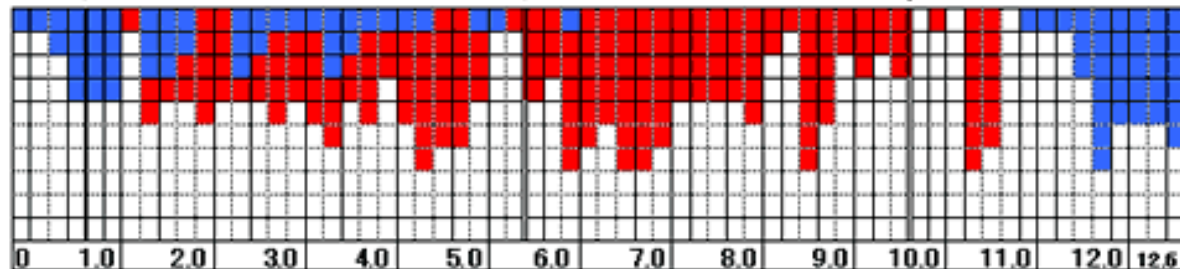


【猪名川左岸】 合流点(0.6k)

分派点(5.4k)

久代北台井堰(9.6k)

S28 5.0倍
S28 3.5倍
S28 3.0倍
S28 2.5倍
S28 2.0倍
S28 1.8倍
S28 1.5倍
S28 1.2倍
S28 1.0倍
S35 1.0倍
測点



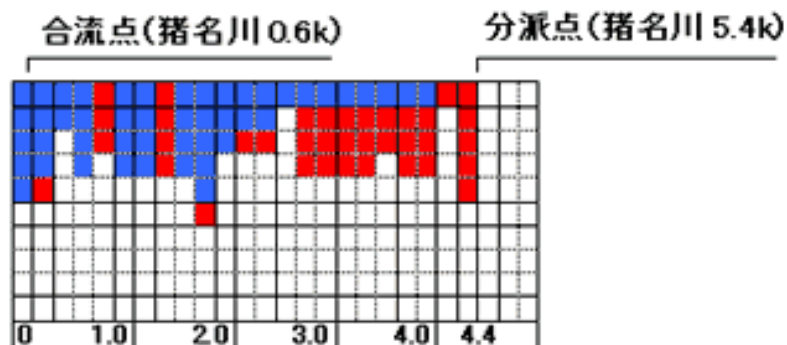
堤防の破堤要因評価(2)

■現況

■ : 浸透
 ■ : 洗掘
 ■ : 越水溢水

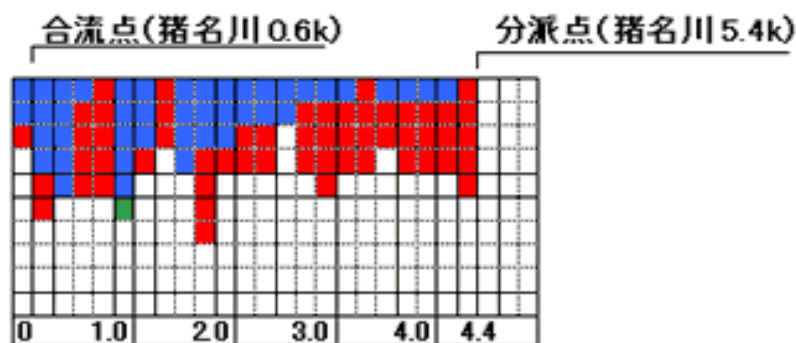
【藻川右岸】

S28 5.0倍
 S28 3.5倍
 S28 3.0倍
 S28 2.5倍
 S28 2.0倍
 S28 1.8倍
 S28 1.5倍
 S28 1.2倍
 S28 1.0倍
 S35 1.0倍
 測点



【藻川左岸】

S28 5.0倍
 S28 3.5倍
 S28 3.0倍
 S28 2.5倍
 S28 2.0倍
 S28 1.8倍
 S28 1.5倍
 S28 1.2倍
 S28 1.0倍
 S35 1.0倍
 測点



阪急神戸線 蘆川橋

全景



右岸



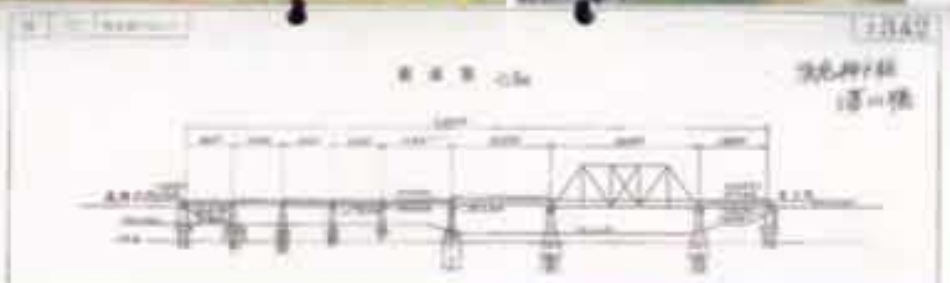
JR新幹線

堤内地状況(右岸)



住宅地

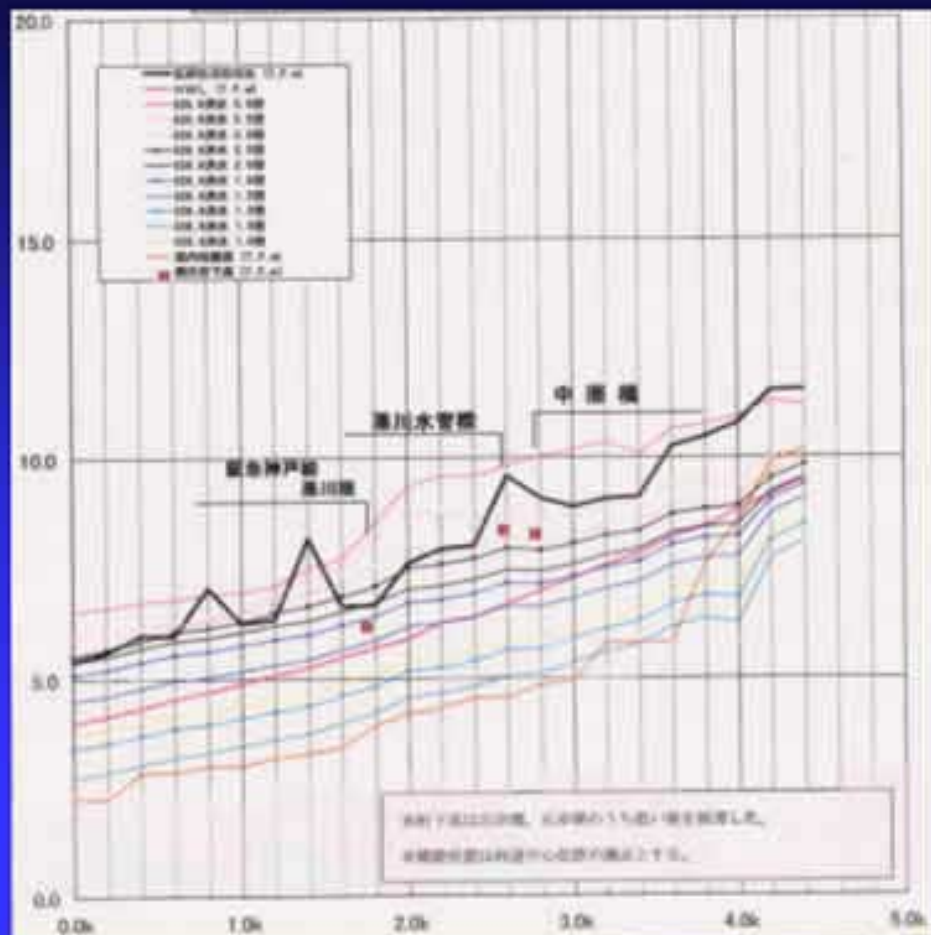
堤内地状況(左岸)



断面図

阪急神戸線
蘆川橋

藻川堤防評価縦断図(右岸) 現況



壊滅的被害を回避するための方法を考えると、

